

農業技術 プリズム

長崎県が育成したバレイシヨ「アイマサリ」(2021年9月品種登録)は、春作産では収量(1個30g以上の収量)4t/10aの確保が期待できる一方で、早期肥大性があることから4月下旬収穫でも収量3t/10a確保が期待できます。

通常4月は、5月に比べ市場単価が高いため、作型の組み合わせ(分散)により機械・労力の効率的利用や規模拡大、所得向上が見込まれます。

そこで、所得向上につながる作型選択や作型組み合わせの検討に役立つ情報を提供するため、春作マルチ栽培「ア

イマサリ」の、異なる出芽期に対応する目標収量到達日を1⁺haメッシュ地図の形で可視化しました。

この目標収量到達日マップ

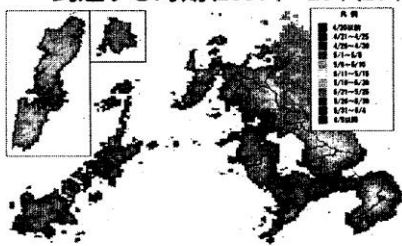
春作バレイシヨ「アイマサリ」

マルチ栽培目標収量 地図で到達日可視化

では、「10a当たり収量が〇tに達するのは〇月〇日頃」ということが1⁺haメッシュごとに色で分かります。

出芽日は2月21日と3月

マップの1例:3月1日出芽のとき収量3.5t/10aに到達する時期(2001年~20年(20年間)の平均到達日)



【使用データ】
 (1)国土数値情報(3次メッシュ)と行政区域データ
 (2)農研機構メッシュ農業気象データ(日平均気温)
 (2001年から20年の20年間のデータ)

1、11、21日の4パターン、目標収量は3t、3・5t、4tの3パターンで合計12のマップを作成しました(図はそのうちの1つです)。

作型の分散や他品目との組み合わせなどの生産・販売戦略の検討にご活用ください。

(長崎県農林技術開発センター 研究企画部門 研究室長 土井謙児)